

平成27年度学校評価アンケートのまとめ 「◎はい + ○ややはい (合計)」の 前後期推移

質問項目 ①はい、②ややはい ③ややいいえ、④いいえ	生徒		保護者		教職員		校内担当	本年度実施した主な方策	自己評価 ※	次年度に向けての課題
	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
	◎+○	◎+○	◎+○	◎+○	◎+○	◎+○				
1 学校は「いじめ」根絶に積極的に取り組んでいる。	83%	88%	89%	91%	100%	98%	生徒指導	教育相談アンケートを年3回実施し、いじめ防止標語の募集や良い標語の掲示を行った。また、いじめの温床となしやすいSNSの利用について指導を行った。	B	いじめ根絶に向けて左記の指導を引き続き行っていく。また、スマートフォンやSNSの適正な利用について、生徒自身が考えていく機会を作る。
2 学校は、大地震や火災が発生した際の対応方法について、生徒に理解させている。	88%	87%	92%	88%	93%	98%	保健環境	災害はいつ起こるかわからないという意識を常に持ち、災害に対する備えと警戒を怠らないように歓喜する。防災訓練を年間2回を必ず実施する。	B	災害に対しての意識を常に持たせ、更なる備えと警戒を全体へ促す。防災訓練を常に本番さながらに捉え緊張感のあるものとする。。
3 学校は、校内の施設で危険な箇所がある場合の対応について、生徒に理解させている。	66%	68%	83%	84%	87%	92%	保健環境	施設の点検を全職員で定期的を実施し、適宜管理職への報告と改善を実施した。	B	施設の不具合などが発見された場合は迅速な対応を心がけ、職員生徒への注意、報告を徹底する。
4 生徒は授業により基礎的・基本的な内容を身に付けることができた。	88%	89%	85%	88%	96%	98%	教務	基礎学力の向上を目指してその時間の目標を明確にし、適切な学習活動を設定した。言語活動や協働学習の研修を行った。	B	教科の目標と評価の観点・方法をより明確に生徒に示し、すべての生徒が意欲的に学習に取り組めるよう、年間指導計画及びシラバスを工夫する。
5 生徒は自分の意見や考えを発表できるようになった。	75%	80%	83%	87%	93%	85%	教務	80%以上の生徒が自分の意見や考えを発表する機会があったと感じているが、内容や指導方法をさらに工夫・改善していく必要がある。	B	自分の意見や考えを発表する際には学びへの意欲向上につながるようテーマや方策について工夫・改善を行う。
6 学校は授業時間の確保に努めている。	96%	95%	97%	96%	100%	100%	教務	出張・年休等の際の授業振替が徹底できた。今後も授業確保と授業の質の向上に努める。	B	出張・年休の際の授業変更に加えて、授業日の曜日の平均化を確実に行う。また行事の精選にも取り組む。
7 学校は高大連携事業に積極的に取り組んでいる。	95%	83%	97%	96%	98%	96%	高大連携	SGH指定2年目。コンテスト形式のセミナーなどにも積極的に参加した。また、成果発表会やHPの充実をはかり、各学年の取り組みを共有及び発信した。	C	今年度の取り組みをふまえ、SGH事業推進の体制を整え、より一層の充実を図っていく。
8 講演会や海外研修など、国際理解の場がある。	94%	89%	92%	92%	100%	98%	教務 (国際)	昨年の取り組みに加え、イングリッシュセミナーを発展させた小学校での英語授業参加や、国際的な教育をしている大学の進路講演会等を行った。	C	今年度の反省を来年度の行事に活かし、係りや関係する先生方等と相談し、行事を計画実行していく。
9 生徒は学校生活をとおして、社会に出て役立つ能力・態度を身に付けた。	88%	89%	87%	87%	96%	94%	進路	学習や各種調査・進路研究等の活動をとおして基礎的汎用的能力が身に付くような取組をした。すべての教育活動がキャリア教育に通じていると意識させた。	B	多くの活動で身につけている力を意識させる指導を継続していく。
10 学校は欠席・遅刻・早退をさせないための指導を行っている。	98%	96%	91%	93%	98%	98%	生徒指導	欠席・遅刻については家庭との連絡の徹底を図った。また、各月に一週間の校門指導を実施し、遅刻の減少に努めた。多遅刻者には別途指導を行った。	B	遅刻する生徒は減ってきてはいるが、なくなったわけではないので引き続き指導していく。
11 学校は交通事故を未然に防ぐために、しっかりと指導している。	97%	93%	94%	93%	98%	96%	生徒指導	HRや集会時等、機を見て常に交通ルール・マナーの指導を行っている。また、交通安全教室として、警察や交通安全協会の協力の下、車と自転車の衝突実験等を行った。	D	交通事故の件数が昨年の倍近くになってしまった。今後は自転車の乗り方の実技指導など、より実践的な指導を取り入れて、交通事故の撲滅を目指したい。
12 生徒は服装規定をしっかりと守ろうと心がけている。	97%	97%	95%	96%	98%	100%	生徒指導	日々の学校での活動時や、集会時の服装指導、校門指導、考査時の服装頭髪チェック等、様々な場面で指導をし、違反した場合は反省文指導を行った。	B	全体的にはほぼ問題ない状態だが、細かい点では服装違反等が多少見受けられる。反省文指導が少しでも減るように指導を継続していく。
13 学校は積極的に情報を発信している。	91%	89%	91%	91%	96%	98%	広報渉外	SGHページのリニューアルやその他のページのデザイン変更など、広報活動の充実・改善を継続して行った。	B	生徒、保護者の1割の方々からは、「積極的に情報を発信していない」というご指摘を頂いた。更に現状の分析を進め、改善につなげてゆきたい。
14 オープンスクールが盛大に実施されている。	90%	89%	91%	90%	100%	100%	教務	今年度は昨年度以上に生徒が中心となって運営できたこともあり、生徒の中でも学校公開が盛んであるという認識が高まった。	B	来年は大きく形態が変わるので早めに準備し、より本校への理解を深めてもらえるものにしていく。
15 高経附の生徒や職員は積極的に教育活動に取り組んでいる。	95%	94%	96%	94%	100%	96%	教務	一人一人が輝ける、新しい価値を創造できる高校を実現するために、今年度も各方面で様々な工夫・改善を行い、生徒・保護者・職員ともに高い満足度となった。	B	今年度の反省点を踏まえてさらに工夫・改善を行い、生徒一人一人が活躍できる機会を通して学習意欲の向上・学力の向上を目指す。

◎はい、○ややはい、△ややいいえ、×いいえ

※ 評価基準 A:良くなった、B:ほぼ良くなった、C:現状維持、D現状より悪くなった